



2022年5月13日

各 位

会 社 名 株式会社ギックス
代表者名 代表取締役 CEO 網野 知博
(コード番号：9219 東京グロース市場)
問合せ先 管理本部長 加部東 大悟
(TEL. 03-3452-1221)

通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2022年5月13日開催の取締役会において、下記のとおり、最近の業績の動向等を踏まえ、2022年3月30日付で公表しました2022年6月期（2021年7月1日～2022年6月30日）の通期の業績予想を上方修正することとしましたのでお知らせいたします。

記

1. 当期の個別業績予想数値の修正（2021年7月1日～2022年6月30日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 た り 当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	966	20	14	6	1.30
今回修正予想（B）	1,050	86	81	56	11.89
増 減 額（B－A）	84	66	67	50	—
増 減 率（％）	8.7	323.3	463.2	728.3	—
（参考）前期実績 （2021年6月期）	722	54	50	51	12.86

（注）1. 当社は連結財務諸表を作成しておりません。

2. 2022年6月期（予想）の1株当たり当期純利益金額は、公募及び第三者割当増資による新株式数（387,900株）を含めた期中平均発行済株式数により算出しております。

3. 2021年12月1日付で、普通株式1株につき普通株式100株の割合で株式分割を行っております。上記では、2021年6月期の期首に当該分割が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益金額を算出しております。

2. 修正の理由

当社事業の展開にあたり、個別課題解決を図るDIコンサルティング・DIプラットフォーム、共通課題解決を図るDIプロダクトの3つのサービス（総称：DIサービス）をクライアント企業へ提供しております。昨今の不安定な社会情勢や経済環境において、データインフォームドに対するニーズは日々高まっており、DIサービスの引き合いをいただく機会が増えてきております。とりわけ、従前より取引のある大手クライアント企業において、既取引部門・取組み中の領域におけるDIサービスの利用継続・拡大（縦展開）および、同社内の未取引部門・新規領域へのDIサービスの提供（横展開）を同時並行で実施する「縦横展開」が、非常に高いニーズを持って受け止められております。

2022年6月期においても、この「縦横展開」が奏功し、既存のお取引先様を中心に当初想定を上回る案件機会を頂戴した結果、大手取引先との関係強化および、それに伴う取引額の増加を得ることとなりました。当初の想定を上回る速度でデータインフォームドの思想が浸透し、DIサービスの提供機会が増大している状況にあります。

その結果、2022年6月期は売上高が業績予想を上回る見込みとなりました。加えて、各種費用の見直し等により、営業利益、経常利益、当期純利益いずれにつきましても、業績予想を上回る見込みとなりました。上記を踏まえ、前回発表予想を修正致します。

(注) 上記の予想は本資料の発表日現在における入手可能な情報に基づいて算出しておりますが、実際の業績は今後の様々な要因により、予想数値とは異なる結果となる可能性があります。

以上